

令和7年度秋田県放課後児童支援員等認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

<県央会場>

科目 ⑬こどもの生活面における対応

- ◆ 子どもの健康維持のための衛生管理についての理解と、食物アレルギー等への対応に関する必要な知識を学ぶことは命に関わることで、とても大事なことであることを学んだ。放課後児童支援員間での日頃の情報共有が重要だと感じた。食物アレルギーの知識や食中毒などの安全管理なども、放課後児童支援員をやる上でとても大事なことだし、今後は学んだことを活かせるよう、子どもの健康管理や生活面での対応をしっかりしていきたい。
- ◆ 子どもの生活面における対応について、気になる様子が見られる子に限らず、問題がなさそうな子にも注意を向け、子どもの様子を日常的に捉え支援や援助を行いたい。また、食について印象的だったのは「楽しく食べることを第一に考える」ということだった。安全、衛生、礼儀習慣が最重要と考えていたので、今後は“楽しく”かつ“安全”に食べるにはどのようにしたらよいか、子どもの目線になって考え実践したいと思った。
- ◆ 子どもたちが安心して過ごせるために、支援員間で情報を共有することがとても大事であり、普段の体調や感情の状態把握は欠かせないものであると再確認できました。命にかかわるアレルギー等への対応、衛生管理は今一度見直し、徹底した管理を心掛けていきたいと思いました。また万が一に備えて、マニュアル作りなど、起こってしまった事柄に対しての最善の策を考えて行動することも重要であると学ぶことができました。
- ◆ 子どもの健康維持のための衛生管理や食物アレルギーの対応は、子どもの命にかかわることなので責任重大だと思った。特に食物アレルギーの対応については、誤食を防ぐのはもちろんだが、いざという時のために備えて、施設内での役割分担を確認し、事前にシミュレーションを行うことも大事だと学んだ。アレルギーをもった子どもに対して、支援員同士が情報を共有し、もしものことがないように気を付けて過ごしていきたい。
- ◆ 食中毒や感染症、アレルギーについて詳しく学べた。食物アレルギーの定義や食品アレルギーの交差性の話も印象深かった。食がいかにか子どもの健康に直結しているかがよく分かる内容だった。今までも研修等でアレルギー緊急時の対応等について学ぶ機会もあったのだが、子どもの命に関わる重要なことなので、今一度エピペンの使用や救急要請の手順をしっかり確認したいと思う。